



# 学修時間・学修実態及び 授業評価に関する報告書 (2019年度春学期)

2019年度 清泉女学院短期大学 IR室

2019/8/31

1

# 目的

- 清泉女学院短期大学の2019年度春学期授業評価アンケートを分析すること
  - 学科別，学年別、授業形態別に分析
    - 共通教育（略称：共通）
    - 幼児教育科（略称：幼教）
    - 国際コミュニケーション科（略称：国際）とする
- 本学の教学マネジメント体制における，教育課程編成に関する全学的方針の検討への基礎データとして活用すること

# 調査概要

- 調査時期：2019年7月
- 調査対象：
  - 清泉女学院短期大学生を対象とした。
  - 分析対象は、2019年度春学期に開講した科目のうち148科目※。総回答数4914件。

**表1** 学年別・学科別・授業形態別の分析科目数

学科	配当年次	講義	演習	実技・実習	小計
共通	1年	4	2		6
	1・2年	9	1	2	12
国際	1年	8	25	2	35
	2年	10	21	1	32
幼教	1年	6	20	1	27
	2年	6	30		36
総計					148

※アンケート実施科目のみ掲載（実際の開講科目数とは異なる）

# 調査項目①（授業時間外の学修時間）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【授業時間外の学修時間（予習・復習）】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- 問 あなたは、毎日平均して、どのくらいこの授業の予習復習を行いましたか？
  - 1：0時間
  - 2：30分程度
  - 3：1時間程度
  - 4：1時間半程度
  - 5：2時間以上
- 各選択肢の間隔は30分であり均等であるため、間隔尺度として用いた。また、1：「0分」、2：「30分」等、学修時間の推計量として用いた。

# 調査項目①の記述統計

- 短大全体における学修時間の平均値は、推計値【39分】であった。
- 学修時間は、演習／実技・実習科目について長い傾向であった。

※  $\sigma$ （標準偏差：ばらつき度合）を示す

表2 学科別・授業形態別の授業1回当たりの予習・復習時間の推計値（分）

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 ( $\sigma$ )	科目数						
共通	1年	19 (5)	4	59 (15)	2			32 (21)	6
	1・2年	24 (17)	9	48	1	17 (2)	2	25 (17)	12
	小計	22 (15)	13	55 (14)	3	17 (2)	2	27 (19)	18
幼教	1年	35 (15)	6	35 (20)	20	88	1	37 (21)	27
	2年	32 (34)	6	30 (13)	30			30 (18)	36
	小計	34 (26)	12	32 (17)	50	88	1	33 (20)	63
国際	1年	43 (14)	8	50 (19)	25	46 (1)	2	48 (17)	35
	2年	33 (8)	10	51 (20)	21	120	1	47 (23)	32
	小計	37 (12)	18	50 (19)	46	70 (35)	3	48 (20)	67
総計		32 (19)	43	41 (20)	99	56 (37)	6	39 (21)	148

## 調査項目②（授業満足度）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【授業満足度】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- 問 この授業全体を振り返り、満足できる内容であったと思いますか？
  - 1：そう思わない
  - 2：どちらかといえば、そう思わない
  - 3：どちらともいえない
  - 4：どちらかといえば、そう思う
  - 5：そう思う

## 調査項目②の記述統計

- 短大全体における授業満足度の平均値は、**4.57** であった。
- 授業満足度は、演習／実技・実習科目について高い傾向であった。
- 全学科・授業形態別の満足度の**平均値が4以上**であり、全般的に良好である。

※  $\sigma$ （標準偏差：ばらつき度合）を示す

表3 学科別・授業形態別の授業満足度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 ( $\sigma$ )	科目数						
共通	1年	4.20 (.24)	4	4.62 (.01)	2			4.34 (.28)	6
	1・2年	4.47 (.22)	9	4.17	1	4.96 (.04)	2	4.53 (.28)	12
	小計	4.39 (.26)	13	4.47 (.22)	3	4.96 (.04)	2	4.46 (.30)	18
幼教	1年	4.58 (.19)	6	4.68 (.16)	20	4.28	1	4.64 (.18)	27
	2年	4.76 (.10)	6	4.79 (.18)	30			4.78 (.17)	36
	小計	4.67 (.17)	12	4.74 (.18)	50	4.28	1	4.72 (.19)	63
国際	1年	4.69 (.18)	8	4.55 (.27)	25	4.93 (.07)	2	4.60 (.26)	35
	2年	4.14 (.40)	10	4.34 (.33)	21	5.00	1	4.30 (.38)	32
	小計	4.39 (.42)	18	4.45 (.32)	46	4.96 (.06)	3	4.46 (.36)	67
総計		4.47 (.34)	43	4.60 (.29)	99	4.85 (.26)	6	4.57 (.32)	148

## 調査項目③（主体的・対話的で深い学び）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【主体的・対話的で深い学びの活用度（アクティブ・ラーニングの活用度）】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- 問 この授業では、「主体的・対話的で深い学び」を促す要素が活用されていたと思いますか？
  - 1：そう思わない
  - 2：どちらかといえば、そう思わない
  - 3：どちらともいえない
  - 4：どちらかといえば、そう思う
  - 5：そう思う

## 調査項目③の記述統計

- 短大全体におけるアクティブ・ラーニングの活用度の平均値は、**4.49**であった。
- 活用度は、演習／実技・実習科目について高い傾向であった。
- 全学科・授業形態別の活用度の**平均値が4以上**であり、全般的に良好である。

※  $\sigma$ （標準偏差：ばらつき度合）を示す

表4 学科別・授業形態別のアクティブ・ラーニングの活用度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 ( $\sigma$ )	科目数						
共通	1年	4.22 (.19)	4	4.58 (.03)	2			4.34 (.23)	6
	1・2年	4.23 (.24)	9	4.25	1	4.78 (.11)	2	4.32 (.30)	12
	小計	4.22 (.23)	13	4.47 (.16)	3	4.78 (.11)	2	4.33 (.28)	18
幼教	1年	4.51 (.29)	6	4.61 (.18)	20	4.48	1	4.58 (.21)	27
	2年	4.59 (.20)	6	4.71 (.22)	30			4.69 (.22)	36
	小計	4.55 (.25)	12	4.67 (.21)	50	4.48	1	4.64 (.23)	63
国際	1年	4.62 (.24)	8	4.41 (.32)	25	4.85 (.15)	2	4.48 (.32)	35
	2年	4.09 (.43)	10	4.32 (.39)	21	5.00	1	4.27 (.43)	32
	小計	4.32 (.44)	18	4.37 (.36)	46	4.90 (.14)	3	4.38 (.39)	67
総計		4.36 (.36)	43	4.52 (.32)	99	4.79 (.19)	6	4.49 (.34)	148

## 調査項目④（学習成果の到達目標）

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業評価アンケート」における項目として【科目の学習成果の到達目標に対する認識】を調査した。アンケートは、原則、無記名アンケート方式で行った。
- 問 この授業は、学習成果の到達目標に対する知識・技能の習得に役立ったと思いますか？
  - 1： そう思わない
  - 2： どちらかといえば、そう思わない
  - 3： どちらともいえない
  - 4： どちらかといえば、そう思う
  - 5： そう思う

## 調査項目④の記述統計

- 短大全体における学習成果目標に対する目標到達度の平均値は、**4.54**であった。
- 目標到達度は、演習／実技・実習科目について高い傾向であった。
- 全学科・授業形態別の認識度の**平均値が4以上**であり、全般的に良好である。

※  $\sigma$ （標準偏差：ばらつき度合）を示す

表5 学科別・授業形態別の学習成果目標に対する目標到達度

学科	配当年次	講義		演習		実技・実習		全体	
		平均 ( $\sigma$ )	科目数						
共通	1年	4.39 (.22)	4	4.58 (.08)	2			4.46 (.20)	6
	1・2年	4.44 (.19)	9	4.38	1	4.90 (.01)	2	4.51 (.24)	12
	小計	4.42 (.20)	13	4.51 (.12)	3	4.90 (.01)	2	4.49 (.23)	18
幼教	1年	4.58 (.13)	6	4.65 (.13)	20	4.39	1	4.62 (.14)	27
	2年	4.66 (.17)	6	4.74 (.18)	30			4.73 (.18)	36
	小計	4.62 (.16)	12	4.70 (.17)	50	4.39	1	4.68 (.17)	63
国際	1年	4.63 (.21)	8	4.59 (.21)	25	4.72 (.22)	2	4.60 (.21)	35
	2年	4.09 (.37)	10	4.30 (.30)	21	4.50	1	4.24 (.34)	32
	小計	4.33 (.41)	18	4.46 (.29)	46	4.64 (.20)	3	4.43 (.33)	67
総計		4.44 (.32)	43	4.58 (.26)	99	4.69 (.23)	6	4.54 (.29)	148

## 調査項目⑤：共通教育科目の学習成果（詳細）

- 短大共通教育科目の学習成果目標別の目標到達度の平均値は、**4.49**であった（灰色・赤字部）。
- 概ね全授業評価アンケート項目に対して、**平均値が4以上**であり、全般的に良好な学習成果であると考えられる。

※計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

**表6** 共通教育科目の学習成果目標別・科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学習 時間	授業 姿勢	目的 理解	シラ バス	内容 理解	教材 工夫	伝達 方法	AL 活用	授業 満足	学習 成果
1 知識・教養	15	30分	4.35	4.38	4.51	4.18	4.37	4.43	4.26	4.40	4.44
2 視野の広さ	7	27分	4.24	4.41	4.50	4.31	4.45	4.50	4.22	4.47	4.43
3 豊かな人間性	4	19分	4.49	4.20	4.56	3.82	4.18	4.35	4.22	4.20	4.39
4 コミュニケーション能力	7	32分	4.46	4.52	4.58	4.44	4.52	4.53	4.49	4.61	4.61
5 健康・体力	3	14分	4.53	4.54	4.68	4.60	4.63	4.73	4.66	4.79	4.73
	全体	27分	4.38	4.41	4.54	4.25	4.42	4.48	4.33	4.46	<b>4.49</b>

## 調査項目⑥：幼児教育科専門科目の学習成果（詳細）

- ・ 幼児教育科の学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値は、**4.68**であった（灰色・赤字部）。
- ・ 全授業評価アンケート項目に対して、**平均値が4以上**であり、全般的に良好な学習成果であると考えられる。

※計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表7 幼児教育科 学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学習時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
① IIa 保育の基礎的教養（現代的教養・社会的教養・倫理観）の習得	5	33分	4.69	4.67	4.65	4.56	4.63	4.63	4.59	4.65	4.58
② IIb 保育の原理・目的の理解	8	27分	4.68	4.58	4.67	4.49	4.57	4.56	4.48	4.57	4.55
③ IIc 保育及び支援の対象の理解	17	28分	4.57	4.68	4.71	4.54	4.65	4.65	4.52	4.66	4.62
④ IId 保育内容や保育方法、具体的援助の方法の理解	20	28分	4.54	4.65	4.67	4.52	4.60	4.63	4.53	4.66	4.62
⑤ IIe 保育に関する基礎的技能の獲得	19	43分	4.56	4.70	4.68	4.61	4.63	4.62	4.62	4.66	4.64
⑥ II f a~eに基づく保育の総合的実践力の基礎の獲得	28	29分	4.53	4.72	4.72	4.64	4.67	4.70	4.68	4.75	4.72
⑦ III 保育実践の思考力や課題解決能力、行動力の基礎の修得	15	32分	4.59	4.81	4.78	4.77	4.78	4.82	4.82	4.87	4.83
⑧ IV 保育実践の表現力・創造力・感性の基礎の修得	16	35分	4.59	4.79	4.76	4.79	4.77	4.82	4.80	4.86	4.82
⑨ V 保育実践の主体性や自己学習能力の基礎の修得	12	34分	4.55	4.80	4.77	4.80	4.76	4.82	4.83	4.88	4.85
⑩ VIa 保育者の体験力の基礎の修得	5	37分	4.47	4.74	4.71	4.76	4.71	4.78	4.79	4.85	4.73
⑪ VIb 保育者の人間関係力、他者との協働性の基礎の修得	6	48分	4.82	4.79	4.73	4.78	4.72	4.78	4.78	4.82	4.73
	全体	33分	4.58	4.71	4.71	4.63	4.67	4.69	4.65	4.72	<b>4.68</b>

## 調査項目⑦：国際コミュニケーション科専門科目の学習成果（詳細）

- 国際コミュニケーション科の学習成果目標別の目標到達度の平均値は、**4.43** であった（灰色・赤字部）。
- 全授業評価アンケート項目に対して、**平均値が4以上**であり、全般的に良好な学習成果であると考えられる。

※計算は、カリキュラムマップの◎と○の両方を含む

表8 国際コミュニケーション科 学習成果目標別・専門科目群の目標到達度の平均値

学習成果目標	科目数	学習時間	授業姿勢	目的理解	シラバス	内容理解	教材工夫	伝達方法	AL活用	授業満足	学習成果
I 社会人基礎力・キャリア形成力	40	51分	4.41	4.52	4.56	4.34	4.44	4.50	4.41	4.48	4.48
II 建学精神・豊かな人間性	2	34分	4.80	4.90	4.90	4.80	4.80	5.00	5.00	5.00	4.90
III 基礎的知識・学習スキル	32	48分	4.43	4.56	4.59	4.34	4.47	4.47	4.41	4.54	4.55
IV ①各分野の応用力・専門性	35	47分	4.29	4.44	4.45	4.28	4.38	4.46	4.34	4.38	4.30
②有用な資格取得	6	43分	4.49	4.54	4.52	4.07	4.28	4.27	4.19	4.36	4.54
V 清泉スピリット											
①問題を発見する力	31	44分	4.27	4.48	4.48	4.30	4.43	4.48	4.35	4.44	4.37
②考える力・思考力	38	49分	4.30	4.47	4.50	4.30	4.41	4.46	4.40	4.43	4.39
③工夫する力	13	51分	4.24	4.45	4.48	4.31	4.39	4.44	4.44	4.37	4.33
④コミュニケーション力	31	51分	4.32	4.46	4.49	4.32	4.41	4.44	4.41	4.45	4.41
⑤行動する力	13	58分	4.28	4.49	4.56	4.41	4.42	4.54	4.56	4.47	4.39
全体		48分	4.34	4.49	4.51	4.31	4.42	4.46	4.38	4.46	<b>4.43</b>

# まとめ

- 短大全体の授業外学習時間の平均値は **39分**（推定）であった。昨年同様、特に共通教育科目の学習時間に課題があると考えられる。
- 短大全体における授業満足度の平均値は **4.57** であった。全体的に良好な状態にあると考えられる。
- 短大全体における「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の活用度の平均値は **4.49** であった。全体的に良好な状態にあると考えられる。
- 短大全体における学習成果目標に対する目標到達度の平均値は **4.54** であった。全体的に良好な状態にあると考えられる。